令和３年度

事 業 報 告 書

1.　法 人 事 業 報 告

2.　施 設 事 業 報 告

社会福祉法人 宏正会

目　　次

1. 令和３年度総括報告（1 年を振り返って）・・・・・・・・・・・・・1

2. 役員・運営推進会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

3. 職員人事異動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

＜総務部＞　(1) 庶務・経理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

＜人事部＞　(1) 人材育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

(2) 安全衛生係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

＜その他の係＞ (1) 防災係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

(2) 広報係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

(3) 地域福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

１．令和３年度総括報告（1年を振り返って）

定期の理事会・評議委員会を規定道理執り行う

（１）運営全般

①「愛情・友和・尊厳」をスローガンに掲げ、事業所の運営を推し進めた。コロナの影響による運営で利用者確保が進みづらい部分もあり、入居・利用予定がとらえきれなかった。

（２）福祉サービス事業の「ニーズへの対応」を進める

①地域における福祉ニーズへの一般相談の対応をするため、計画相談だけではなく、一般相談を受け入れられるよう対応をすすめた。現在福山市（社会福祉協議会）の相談事業にも参画させていただいている。

① 湯野ショートステイ愛の利用率が予定数値の水準まであと少しだが、概ね予定に近い推移で進めている。今後もリハビリのあるショートステイで近隣で困っている方への周知を行っていく。

② 湯野デイサービス愛の利用率はコロナの影響もあり多少減少している。近隣からの利用者集客もリハビリ職によるリハビリ効果で進んでいる。今後も維持していくためにリハビリの継続を実施していく。

（３）人材の確保と定着、そして育成について強化していく

①介護人材の確保は年間通すと、比較的スムーズに行えたが、新人人材の教育体制ができておらず職員の離職につながることがみられた。全体の退職者率は昨年度より低下したが、経験者求人を中心に行ったため、育成体制の整備が思うように進まなかった。
育成については、場当たり的な教育に追われ、課題となっていた育成体系の再構築については、施設長直轄で対応する。

（４）各福祉サービスの推進

①「地域密着型特別養護老人ホーム愛」は、年間稼働率は92.4%でした、本年度は死亡退去が昨年度より多く、空室の時期が昨年度より１.3%増加している。

②「湯野ショートステイ愛」は、年間利用率は86.9%でコロナの影響で利用制限をせざるおえない時期もあった中、昨年度とほぼ同じ利用率で推移している。

③「ガーデンハイツ湯野」は、年間入居率は92.8%でした。コロナの影響による新規入所の一時停止等もあり入所率が若干低下している。

④「湯野デイサービス愛」は、年間利用率は89.5%で、コロナの影響による減少もあり、昨年度より利用率は低下しているが、リハビリの実施により新規利用者の確保もできている。

⑤地域交流事業はコロナウイルス対策で実行できていない。

⑥広報の編集・作成・発行を行ない、宏正会の周知を拡げていく。

（５）施設整備関係

主に次のような施設整備を行なった。
・訪問看護の事業所の移転を行った⇒御幸町より神辺町湯野１０１８－１

（６）借入金の償還

・各借入金は、令和３年度分の償還を予定通り行なった。借入は、利子の返済を予定通りに行なった。

２.法人役員、評議員、運営協議会委員

（１）役員、評議員、運営協議会委員（令和４年３ 月 ３１ 日）

役 職	定数	氏　名
理 事	6	
監 事	2	
評議員	7	
運営協議会委員	6	包括支援センター職員・民生委員（２名）・町内会長・老人会会長・地域の居宅愛職員

３.理事会・評議委員会開催状況

予定通り行った。

４.運営推進会議開催状況

奇数月の第３木曜日に定期開催（祝祭日の場合翌週）
コロナウイルス感染対策もあり、書面での開催を行った。来年度は定期開催及び地域での活動にも積極的に参加し、地域の方へ開かれた施設づくりを行う。

５． 内部監査結果

令和４ 年５月２６ 日に当法人の監事による令和３年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

６.職員人事異動状況 （令和３年度中）

	採用	退職
人数	１９ 名	５ 名

７. 職員配置状況 （令和４ 年 ３月 ３１日）

	特養・ショート	通所介護	高齢者住宅	事務その他	訪問看護
正職員	27	5	1	4	9
契約職員	3	1		1	
パート	11	13	3	4	3
嘱託医等	2		0	0	0
派遣職員	0	0	0	0	0
合 計	43	19	4	9	12

※兼務職員、兼務嘱託員等は所属施設のみに計上しています。

＜総務部＞

(1) 庶務・経理

①概要

新規の職員が１名入職し、定着できているただ、経理業務の事業分担がうまく機能せず、職員で手分けして日常業務の対応を行ない、経理に対する教育の取り組みはほとんど着手できなかった。

②経理の組織体制整備に対する取り組み

ア　庶務・経理の体制の見直し

・新規の職員が１名入職し、定着できているただ、経理業務の事業分担がうまく機能せず職員で手分けして日常業務の対応を行ない昨年度の課題への対応まではいたらなかった。

イ　労務管理に関する知識の習得

・現任研修で扱うテーマと担当を決めたが、日常の業務を対応に追われ研修の実施はできなかった。

ウ　業務マニュアルの完成

・昨年度庶務経理係全体の業務の洗い出しを行ない、目次の検討を行なった。

本年度も継続して必要な対応を行う。

＜人事部＞（1）人材育成

①概要

本年度は法定研修以外の研修実施もままならなかった。本年度は施設長主導でオンライン研修を行ったが、参加率は高いが実地での研修がコロナウイルス対策で行えなかった。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材育成体系（制度）を構築する

昨年同様 OJT のみでの研修では新人教育がままならなかったが、具体的な改善を含めた行動化には繋がらなかった。入社時の研修のみ昨年度の課題を踏まえ行ってきたが現任研修振り返りが行えていない、育成システムの構成は施設長直轄事業として実施予定。

③実施研修

ア 法人内研修

・法定研修会　　実施
・施設長研修会　実施
・新任職員研修会
定期開催ができている

イ　法人外研修

・施設毎に種別団体の研修、広島県社会福祉協議会関連の研修に参加した。

ウ　見学研修

・本年度はコロナウイルス対策もあり未実施。

エ　自己啓発の推進

・各種研修の案内を進めるも、職員からの申し込みがなかった。

オ　専門医等による研修

未実施

カ　委託の喀痰研修

・未実施

(2) 採用係

①概要

採用者数（契約職員含）は比較的スムーズで行えた。チラシを作成し、求人ホームページ及びネット媒体の求人も行い確保に努めた。しかし、令和３年度新卒者は確保できなかった。学校関係への求人活動においては、新たな動きを全くできずに終わった。

②採用に対する取り組み

ア　安定した採用者数の確保を目指す

・採用者数はスムーズに確保したものの、職員の離職もあり、常時職員募集をかけている状態だった。採用者確保に向けた取り組みと共に職員の職場定着への取り組みも必要になるという課題が明確になった。

イ　採用計画を作成する

・採用計画を作成できず、場当たり的な採用になってしまった。

③ 特定技能人財の採用に対する取り組み

ア　安定した介護人材の確保の為、外国人材の採用を行った

・採用者数はスムーズに確保したものの、職員による教育体制の整備に困難したが、現在は夜勤にも入ってもらっており戦力として活躍していただいている。

(3) 安全衛生

①概要

安全で快適な職場づくりを行うため安全衛生活動に取り組んだ。数件の軽度の事故は発生したが大事に至ることはなかった。しかし数名のメンタル不調者がでてしまった為、職員配置換え等で対応した。

②取り組み

ア　労働災害の予防を図る

・腰痛や利用者による他害行為に関する問題は完全には改善しておらず、引き続きの課題となった。

イ　労働疾病の予防を図る

・メンタルヘルス対策としてメンタルヘルス担当要員を雇用し、ストレスチェックを実施し、個々にメンタルヘルスに関する対応法などのアドバイスを得るとともに、不調者に対してのカウンセリング等の対応をしていただく。

ウ　コロナウイルス感染対策で定期的に抗原検査等を実施した。

職員の感染者が１名でたが、その後感染が広まらず感染対策は旨くいった

エ　感染症対策の BCP の作成だが、本年度概ね完成しているが来期修正し完成させる。

＜その他＞（1）防災

①概要

防火設備の点検を㈱プロテックに行っていただいた。

②取り組み

ア　防災管理マニュアルを完成させる

・各施設の避難経路や応援者の動き等の書面を各施設に配布した。しかし、その書面を各施設での防災教育に役立てることまではできなかった。 BCP の作成が本年度完成せず来期に持ち越しとなる。

イ　防災備蓄品の整備をめざす

・各施設で防災備蓄品の購入を検討し、一部施設で購入を行なった。 食料品については給食委託業者と提携を行い、防災時の取り決めをおこなった。

※その他　・秋季全国火災予防運動
　　・春季全国火災予防運動

（2）広報

①概要

求人ホームページ開設に向けページを作成。広報誌の作成を行ったが定期的に発信ができていないため、次期の課題とする。

プレスリリースの発信が中断しており、来期の課題となる。

②広報目標

ア　広報機能の強化

・広報誌の定期発刊及び内容の精査ができていなかった。

③業務内容

・法人パンフレットの改訂および管理

施設事業の増床及び加算体系等の変化に応じて、改訂のレイアウトを検討した。継続し、改訂準備中。

・施設紹介資料の更新および管理随時行なった

・「事業所紹介ムービー」の更新と管理新たな事業所を追加編集予定

・ホームページの更新および管理

施設ホームページの更新管理が未実施

・職場啓発ポスターの掲示および管理

(3) 地域福祉

①概要

定例的な活動は、できていない。地域向け事業をコロナウイルス対策でできていない、地域との交流が進んでいない。 地域の福祉拠点として、地域の方が気軽に足を運んでいただけるよう相談事業を開始した。

②目標

ア　新たな地域公益事業の取り組みを検討する

・地域との接点が徐々に増えてきたが、具体的なニーズの把握までには至らなかった。今後は、定期的な地域事業などこちらからアプローチをかけて地域のニーズを掘り起こしていきたい。

イ　ボランティア募集の広報活動を行なう

・具体的な広報活動は回覧板以外行えなかったが、個人・団体ボランティア があり、来年度も継続して活動していただけるボランティアを発掘する。

ウ　引き続き、地域における福祉ニーズの情報を収集する

・地域の福祉ニーズの掘り出しができていない。

③地域との交流について

・職員による地域の清掃行事等への参加はできている。

・地域のイベントへの展示を本年度は行えなかったため、来期は実施できるよう作品つくり等にも力を入れていきたい。

施設事業報告

1.　地域密着型特別養護老人ホーム愛

2.　湯野ショートステイ愛

(1) 概要

事業所の特性上利用者の介護度の重度化と医療依存の高い方の入居希望が進み、利用者支援を検討する必要性が生じた。夜勤体制・医療依存度が高い方への対応で職員への喀痰研修の必要性及び夜勤職員の加配の必要性が生じた。

(2) 施設の取り組み

①利用者の確保、入居者への対応

・入居者への対応を検討し、現場での受け入れ能力のなさも有、入居に結び付かない申し込みもおおかった。

・入居者のレベルを緊急性・在宅生活の困難性を基準に原則配点が６０点以上に設定している為、入居者の選定が困難なケースもあった。

・事故が多い利用者についてケース会議や職員会議で対応策の検討がスムーズにできていなかった、場当たり的に居室の環境整備や車椅子や装具の見直し、利用者への声掛けなどを行なった。　職員向け研修を行い、事故対応について学び、対応策の検討が行えだした。

・ユニット型施設での日中活動を充実させるために過去の趣味ややりたいことなどを含めたアセスメントを実施し、介護計画の充実を測るため、研修を行った。

②浴室改修への準備を進める

・現在の浴室の課題について洗い出しを行なった。

(4) 利用者支援

①入所支援

・食事の質向上のため、食形態の改善を栄養士中心に実施した。

イ　機能訓練

・リハビリ職による、入居者の残存機能維持のポジショニングや自助具の検討などを行った

ウ　創作・文化活動

・ユニットごとの作業活動を実施した。

エ　医務面

・定期的な健康相談を行ない、医師の指示を仰ぎながら健康の維持管理を行なった。

・職員で連携をとり、体調不良の利用者の早期発見、早期対応を行なった。

・年間報告

職員健康診断（夜勤者対応）

全体健康診断

(5) 通所介護事業

①概要

在宅生活を継続するうえで必要な、訓練・入浴の支援等を居宅介護支援事業所と連携をとりながら対応した。コロナウイルス対策で利用の制限等の時期もあり利用者確保困難な時期もあった。

②通所介護の取り組み

ア 本人・家族の意見を聞きながら個別支援計画を作成し、本人にとって安心、安全な生活が

送れるよう支援した。

イ 利用希望や見学の連絡を受けた際には、見学に来て頂けるよう働きかけた。また、見学に来られた際には事業の情報を提供した。

ウ 大人の学校という、学び型デイサービスというコンセプトで実施した。通常のプリントのみのアクティビティと違い、男性利用者の反響もよくスムーズに行えた。

エ 介護事業の利用が伸び悩んだ要因として、新規利用者獲得の営業ができていなかった。

また利用者から機能訓練の要望があり、ニーズにあった提供ができていなかった。

利用者ニーズにある機能訓練の開始にむけ、療法士及び看護師の確保ができ、機能訓練の実施体制の構築にむけ実施している。

オ 地域のニーズに買物支援の希望があり、昨年の厚生労働省からの通知にある、混合介護の取組を進めている。内容は買物代行・買物付添事業を通所介護と同時に行い、生活支援体制の取組を行っている。

（６）公益事業

サービス付き高齢者向け住宅事業

①概要

高齢者向け住宅の運営を行い、自宅での生活が困難な高齢者の受け入れを実施した。

②高齢者住宅の取り組み

ア 本人・家族の意見を聞きながら、本人にとって安心、安全な生活が送れるよう支援した。

イ 利用希望や見学の連絡を受けた際には、見学に来て頂けるよう働きかけた。また、見学に来られた際には事業の情報を提供した。

訪問看護事業

①概要

訪問看護事業の運営を行い、自宅での生活が困難な高齢者等への訪問看護事業を実施した。

②訪問看護の取り組み

ア 本人・家族の意見を聞きながら個別支援計画を作成し、本人にとって安心、安全な生活が送れるよう支援した。